

高 各高の開拓者たち ～活躍する各高卒業生～

第15号 平成31年 2月 4日(月)

★★平成25年度卒業生 村地 洋祐さん(愛知淑徳大学卒)です。★★

■自分のコト

初めまして。平成25年度に各務原高校普通科を卒業しました、村地洋祐(むらちようすけ)と申します。高校卒業後は愛知淑徳大学メディアプロデュース学部

(現:創造表現学部)に進学しました。現在は東京で博報堂プロダクツという広告制作会社にて働いています。広告は幅広いです。テレビで流れるCM、新聞に挟まっているチラシ、電車に貼ってあるポスター、お店の前に出ているノボリ、そしてこの文章だって実は広告なのです(笑)意外と広告はみなさんの身近に溢れています。コンプライアンスが非常にうるさい時代なので、仕事については具体的な事例はお話できませんが、見てくださっているみなさんにとって、少しでも有意義な読みモノになれば大変嬉しく思います。少しのお時間、お付き合い宜しくお願いします。ちなみにプロフィール写真は、高校の同期でカメラマンの山村祐太郎氏に以前撮影してもらいました。



■ 現在・会社のコト

先ほど触れたとおり、現在は博報堂プロダクツという会社にて広告に携わる仕事をしています。主な仕事はCMの制作進行です。テレビで流れるTVCMやWEBで流れるWEB-CMを作っています。右の写真は同じ部署の同期です。全ての部署を合わせると同期は80人くらいいます。みんな仲良しです。ここからは、具体的に仕事にて何をしているかについて書いていけたらなと思います。ちょっぴり難しいお話になりますが、ご了承ください。私の仕事は大まかに分ける



と、主に4つあります。一つ目、お金を管理すること。CMには巨額の投資がされています。1本のCMで億単位のお金が動くこともザラです。そのお金を管理し、どこにお金を使えば良いCMができるのかを考えることが仕事です。二つ目、時間を管理すること。CMは宿題と同じように期日が決まっています。期日に間に合わせるために、スケジュールを考えるのも仕事です。CMの仕事は1本3ヶ月くらいのスケジュールで動くことが多いです。夏休みの宿題のように最後の一日徹夜しておわらせろ〜！ということは残念ながらできません。三つ目、人の管理をすること。人には得意不得意があります。人それぞれの特長を見極めて、今回のCMは〇〇さんに参加してもらおう！などを考えることも仕事です。1本のCMに関わる人は総勢で100人以上になることもあります。四つ目、CMの質の管理。CMの仕上がりが良くなかったら、せっかく頑張ってCMをつくっても見てもらえません。そういうことが起こらないように、仕上がりの質を常に上げ続けます。こういったことを毎日仕事としています。仕事のやりがいは、有名人に会えることも確かに楽しみだったりしますが、自分が携わった作品が実際に世の中に出て、ふとしたときにテレビで流れているのを見たり、CMが見知らぬ誰かの会話の話題になっていたのを見かけたときに一番感じます。人と力を合わせて、何かを成し遂げる人が好きな人。例えば、文化祭が好きな人や、チームで動くことが好きな人などは向いているといえる職業かもしれません。正直私にとってこの仕事は、趣味の延長線上にあり、好きなことをしてお金をもらっている感覚です。「好きこそものの上手なれ」という言葉もある通り、楽しいと思える仕事に就くことが僕は仕事を選択する上で一番大事だと思います。もちろんお金もそれなりに欲しいですけどね（笑）

## ■ 大学のコト

愛知淑徳大学メディアプロデュース学部（現：創造表現学部）では、テレビやWeb、映画などさまざまなメディアの特性と、それを活かしたメディア・コミュニケーションの表現方法について学修できます。豊かな発想力や企画力を身につけ、物事を総合的に捉える“プロデュース力”を養うことが可能な学部です。最初、私はテレビ局に入りたいと思い進学しました。ですが、勉強をしていくうちに、広告業界で働きたいと思うようになりました。美大や専門に入ってしまうとある程度、将来を絞って進学することになりますが、この学部だと、幅広い様々な職業を視野におけるため、非常に良かったと感じています。大学のHPにも記事が掲載してありますので、ぜひそちらもご覧いただけたらと思います。

([https://www.aasa.ac.jp/faculty/department/creation\\_expression/media\\_course.html](https://www.aasa.ac.jp/faculty/department/creation_expression/media_course.html))

## ■ 高校のコト

勉強はとりあえず欠点を取らないよう必死でした（笑）数学がとにかく苦手だったため、よく授業が終わった後などに先生に「この問題教えてください！」と聞きに行っていました。親身になって根気よく指導いただいた記憶が残っています。おかげで成績も中の上くらいをキープでき、AO 推薦で大学に進学することができました。部活はサッカー部に所属していました。毎日練習していた



日々が懐かしいです。監督やコーチの方々が熱心に指導してくださったお影で、サッカー以外にも人間として大切なことをたくさん教わりました。私の代は残念ながら全国大会にはいけませんでした。大会の時期になると後輩たちの活躍に胸を躍らせている自分があります。写真は高校卒業時に撮った私たちの代のサッカー部の集合写真です。

## ■ 最後にひとこと

<中学生で各務原高校に進学を見据えている次期後輩のみなさんへ>

勉強も部活も両方頑張りたいと考えているみなさんを応援してくれる先生が各務原高校にはいます。社会に出て活躍している先輩も各務原高校にはいます。何年後か各務原高校を選んで良かったと思える自分がきっといます。

期待に胸を膨らませ、ぜひ各務原高校への進学を選んでください。

<各務原高校在学中の後輩のみなさんへ>

一生に一度しかない高校生活、悔いなく存分に楽しんでください。その中で校訓である「開拓者精神」とは、どういう意味なのかも少し考えてみてください。夢や目標は必ず持ち続けましょう。自分を動かす原動力になります。

一生の仲間を作ってください。そしてその仲間を大切にしてください。

いつか、この読み物を読んだ各務原高校卒業生が社会に出て、一緒になにか仕事ができる日を楽しみに待っています。最後までお読みいただき、ありがとうございました。